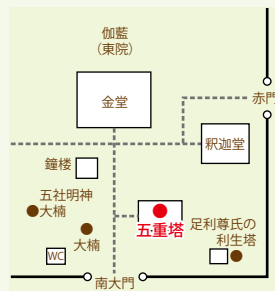




空に浮かび上がる五重塔



街の中に溶け込む五重塔



- 善通寺町三丁目3-1
- JR善通寺駅から徒歩約15分

## 人々に愛されるシンボルタワー

善通寺市のシンボルである五重塔。このま  
ちになくてはならない存在です。

五重塔はお釈迦様のお骨を納める舍利塔  
です。弘法大師空海が創建した五重塔は延  
久2 (1070) 年に大風で倒壊し、現在の塔  
は4代目で明治35 (1902) 年に完成しまし  
た。香川県に現存する五重塔の中で最も古  
く建てられたもので国の重要文化財。三間四  
方、1mの基壇に高さ43m、けやき造りの堂々  
とした造りで、国内の木造塔としては東寺、  
興福寺に次いで3番目の高さを誇ります。

一層内中央にはそれぞれ東は白象にのる  
阿闍如来、南は馬にのる宝生如来、西は孔雀  
にのる阿弥陀如来、北は金翅鳥 (迦楼羅)  
にのる不空成就如来がまつられ、最上部の  
五層目には大日如来を安置しています。

善通寺の五重塔の特徴は、すべての階の  
天井が高く、人が立って歩けるようになって  
いる点。以前は5階まで上がって眺望を楽し  
んでいたそうです。また「懸垂工法」で心柱  
が地面 (基礎の礎石) から浮いています。心  
柱は五層目屋根裏で鎖を使って吊り下げら  
れ、それ以外の周りの部材とは構造的につ  
ながっていません。各層それぞれも完全に固  
定されておらず、五つの箱を積み重ねたよう

な構造になっていて、大きな地震が来たとき  
は、各層がぐねぐねと揺れて、地震の揺れを  
建物全体で吸収する「免震構造」になってい  
ます。毎年、ゴールデンウィークには1階と  
2階の内部が特別公開され、堂内が拝観で  
き、心柱が礎石から浮いている状態を見るこ  
とができます。昔の人の知恵が生み出した工  
法をご覧ください。



街のどこからでも五重塔が見えます。